

「福祉用具の日」に法人化



全国福祉用具専門相談員協会(山下一平会長、ふくせん)が10月1日の「福祉用具の日」に一般社団法人になった。設立3年目を迎

11月14日に、試験会場を第1回の東京、大阪に加え、札幌、仙台、名古屋、岡山、福岡まで拡大して、計7会場を実施される。同テスト実行委員会の主催。受験料は5000円。

「法人化できたことを率直に喜ぶたい。福祉用具の役割はまだまだ社会的に認識されていない。福祉用具の活用を広げること、社会的に貢献していきたい」と山下会長は抱負を述べた。

来賓として出席した厚労省老健局川又竹男振興課長は、「日本の福祉用具は日

本人のきめ細かな配慮が行き届いている。海外にも打って出る有望産業である。介護保険制度の中で福祉用具は大きな柱である。今後新しい用具も給付対象として追加していきたい。同協会は福祉用具サービスを担う方々の集まりとして、今後ともより良い福祉用具サービスを努めていただきたい」と祝辞を述べた。